

7回目のニュージーランド

長瀬瀧雄（名古屋市）

ホストファミリー6回目の訪問

平成24年5月5日、関西空港よりエア・NZ便で出発。8年ぶり6回目のホストファミリー先訪問。退職直前の観光で、気ままにゆっくりドライブしてみたいとの強い思いから再就職を諦め、当クラブ前進のロングステイクラブに入会、第1回のクライストチャーチ語学研修（4週間）に参加、やや間を置き2カ月ほど継続。ステイ先のアンドリュー夫妻よりトヨタ・コロナハッチバック中古の購入と送付を依頼され実現したことから懇意になり、その後の語学研修（4週間）、家内と2人での南島ドライブ2回（各4週間）とその都度お世話になってきた。6日クライストチャーチ空港で夫妻の出迎えを受け、その足でサイン・オブ・ザタカへ（現在は地震被害で休業中）近くの自宅へ。積もる話と、地震の話をお互いに交わす。今回は、NZ政府観光局の元・現職員の方々からの援助で、訪問先である南北両島の北西端地方の見所、回り方等々教えてもらい、計画を立てクライストチャーチ、オークランドでのレンタカーを日本で予約、当クラブも推薦のワールドブリッジにて航空券、オークランド空港内のノボテル2泊を予約。

クライストチャーチ市内見学

12日、ゴールデンベイへの出発まで、市内中心部の被害状況、ハムナービーチ、ニューブライトン、リトルトン（大地震の震源地は30km沖）、ハグレイ公園散策等々案内されたり、近所に住む息子さん達と旧交を温める。前日空港にて車を借り、翌日カイコウラへ。途中、景色を見たり店や露店に立ち寄り、インフォメーションにてB&B、食事所を紹介してもらう。翌日、風強くホエールウォッチングは諦めブレンハイム経由でネルソンへ、当地のクライストチャーチ大聖堂ほか市内見物。

南島北端タカカ経由コリンウッド（ゴールデン湾）へ

14日、タカカ経由でコリンウッドへ。途中、中国人学生の働いている果樹園にてリンゴ（富士）と洋ナシを購入。安価と、こんなところまで来て働く中国学生らに驚く。道路は片道1車線、さして広くはない。町と町の間は遠く見渡す限り1直線、わずかな凹凸が道路を横切る何本かの線になって横たわる。町に近づくと70km/h、50km/h、街中は30km/h制限とな

るが普段は100km/h制限、道の両端に建造物がないためスピード感がなく、100km/hで飛ばしても市内での40~50km/hぐらいの感じしかない。地球の歩き方に記載された日本人経営のB&Bは休業中、郵便局兼インフォメーションにて個人経営のモーテルを紹介してもらう。ツアー会社にて翌日のゴールデンベイ半日コースを予約。翌早朝、1日ツアーバスの後ろに従い駐車場まで同行後、バスに乗りフェアウェルスピットへ。砂嘴の波打ち際の海水をしぶかせ、かなりのスピードで突っ走る。灯台の近くに作られた休憩用の建物でマフィンと飲み物が供され一服。さらに先へ進み、そこでしか見ることのできないウオーター・ストリーム（細かい水滴が海風に吹かれ、まるで砂塵のごとく、砂浜の上を数センチほどの厚みを持って流れていく、物陰では風がないので見ることはできない）を実感する。午後、1日コースのバスと駐車場にて別れ、次のコースへ。往路天気が悪く通過したブズプリングへタカカ川を遡る。見物後ピクトンへ。途中、日暮れとなり、モトウエカのモーテルへ飛び込み宿泊、主人から数種類の果物の差し入れを受ける。

16日、ネルソン・レイクス国立公園のロトイチ湖、景勝ルートとして知られるクイーン・シャーロット・ドライブ経由でピクトンへ。

南北の島を結ぶ連絡船が首都のウェリントンと行き来する港町。インフォメーションにてB&Bとメルキ



N・Z南北島を結ぶフェリー

ュールホテル、クイーン・シャーロット・サウンドのクルーズを予約。B&Bにて、元船乗りの主人から色々なコレクションの飾ってある客間で話を聞く。日本人の客は初めてのこのこと、予定がなければ、翌日ヨットで案内するがとの由、残念！！翌17日、小さな町の商店街を散策、水族館の売店で化石入りの石と珍しい貝殻を土産に購入。午後クルーズに、途中ジェームス・クックの記念碑のある島に上陸観光、島の多い伊勢の海に似て、素晴らしい景色、船上から見る夕焼けはまるで絵葉書を見ているよう。帰港後、ホテルへ、B&Bの筋向かい。18日クライストチャーチへ、ブレンハイム近くのワイナリーで特産の白ワインを、アンバーレイで赤ワインを、ワイン好きのアンドリューへの土産に買い求める。19日ニュージーランド特有のクリーム・ハニーを仕入れにプリーザント・ポイントへ。ほぼ1日かけて往復後、車を返しに空港へ。アンドリューが

同行してくれる。20日、2人だけで市内へ、再開されたエイボン川のパンティングに乗り楽しむ。

北島オークランドへ

21日、午後アンドリュウ夫妻に空港まで見送られ、オークランドへ、空港内のノボテルに泊まる。荷物を整理し、明日からのドライブに必要なものだけ取り出し、他は帰国前日の宿泊時まで預かってもらう。

南島最北端ケープ・レインガへ向けてドライブ

22日、すぐ前の国際航空内で車を借りオマペルへ、途中、現在伐採禁止のカウリが4万年前埋もれたものを掘り出し、加工している店を見学、カウリの森を見物。

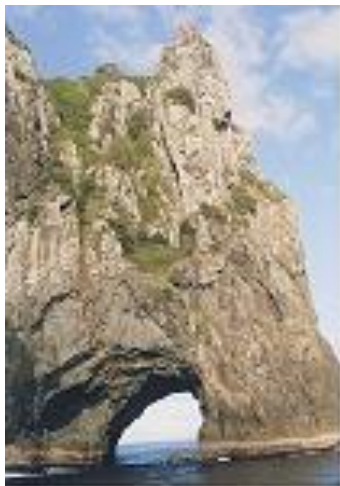


2階の部屋から右側に別棟・ガーデン・温水プールが見える(コブソンホテルで)

目的地のコブソンホテルで部屋がとれ宿泊、素晴らしい景色の中に建つ、聞きしに勝る素晴らしいホテル、1泊朝食付き2人で155ドル(1万円ほど)とはびっくり！

この国にしかないカウリ・ガム(琥珀)の製品を記念に購入。ホテルが気に入り、パイヒアのコブソンホテルを予約してもらう。翌日、濃霧のため出発時間を遅らせ、ケリケリのストーン・ストアーを見学、すぐ横のザ・

ペアツリーにて食事後、街中を散策、ワイタンギのコブソン・ベイ・オブ・アイランズにチェックイン、2階の部屋からの眺望は言うに言われず芝地が真っ青な海岸まで続き絶景。



ホール・イン・ザ・ロック(アイランズ湾クルーズで)

フロントにてベイ・オブ・アイランズのクルーズ、90マイルビーチ、

レインガ岬ツアーと2泊から4泊への延長を依頼。前夜ホテルで隣室になったロトルアのモーター経営者夫妻と再び隣同士、奇遇にびっくり。ビール党の小生にNZ白ワインを推奨、夕刻ガーデンで休憩中の我々にわざわざ白ワインのグラスを持参同席、色々な話を聞かせてもらう。24日、午前中ワイタンギ条約の結ばれた保護区にあるビジターセンター、条約記念館、

マオリの人々の集会場、カヌーハウス等見学、午後、クルーズへ。海上にそそり立つ岩場に開いた大きな穴ホール・イン・ザ・ロックを船ごと、くぐり抜けるスリルを楽しみ、群れなすドルフィンを見、素晴らしい景色に大満足。25日、7:30ホテル前からバスに乗り待望のツアーに、カウリの森、古代カウリ王国(地中に埋もれていた古代の木



北島北西端ケープレインガの灯台

材を加工している、証明書付ボールペンを記念に購入)見学後、太平洋とタズマン海の潮流がぶつかり合っできる潮の目が見える北端のケープレインガへ。灯台まで散策後、浅い川の中を走り、サンドボーディング後90マイル・ビーチを快走。18時ホテル着。

26日、連絡船で対岸のラッセルへ。ポンパリエ、博物館、クライスト教会見学、路上の店にて自家製スモークサーモンを土産に。27日、オークランドから最近かわってきたホテルマンにいろいろ教えてもらい、オークランド・ハーバーを予約してもらう。港の商店街で土産を物色後、オークランドに向け出発。世界的に有名な建築家がデザインした、公衆トイレのあるカワカワの町に立ち寄り見学、オークランドに着き、ホテルにチェックイン後、市内の営業所へ車を返却。

オークランド市内・近隣見学後帰国

28日、午前中、港周辺散策、午後マイク・ガーデン・ツアーで市内巡り。29日、連絡船で対岸のポンポートへ。マウント・ビクトリアの頂上から海を隔てたダウンタウンのビル群、無数のヨットの帆の見える景色はまた格別の趣がある。市内に戻り街中をウインドーショッピング、夕刻、スカイタワーに上がり夜景を楽しむ。早朝上部が雲に覆われていたことが嘘のよう。30日、タクシーにてパネルの観光へ、帰りはインナーバスに乗り市内へ戻り土産漁り、NZしか買うことのできないポッサムのセーター(オーストラリアにもいるが、捕獲禁止、この国では毛皮、毛糸製品に利用、非常に軽く暖かくカシミヤ並み)を仕入れる。15:30、ホテルで荷物を受け取り、予約しておいたシャトルで空港内のノボテルへ、預けておいた荷物を受け取り帰国の準備を済ます。31日、早朝、国際空港にてチェックイン、夕刻、関西空港着、連絡バスにて無事帰宅、22時30分。